



発行所 三池炭鉱労働組合 大牟田市不知火町2 電話 3033番 8100番 編集人 山下 開

階級としての、したがってまた政党としての、プロレタリアの組織は、労働者自身のあいだの競争によって、つねにくり返し破壊される。しかしこの組織はその度に復活し、次第に強く固く、優勢になる。(共産党宣言)

中央団交開く

遺族・被災者問題

炭鉱労働三池労組は、三池大爆発後、遺族・CO被災者に対して何の責任をもたない政府と三井鉱山に対して、去る三月に開催した炭鉱労四八回臨時大会決定の要求内容をもって四月九日、午前二時より三井

春斗の中で

四月九日、午前二時より三井鉱山本店大会議室、会社側代表と炭鉱労働委員長、田中福社対策部長、宮川組合長、谷端三川支部長、程内厚生部長、蒲池東京駐在執行員による組合側代表と、第一回の遺族・CO患者要求の中央交渉をもった。

- 【要求内容】
- 一、大災害当時の会社幹部の責任を追及し、今後の保安確保について
 - 二、遺族対策について
 - (1) 弔慰金は他社なみの一三〇万まで補償せよ。
 - (2) 救済制度を創設し特殊事情者の救済を行え。
 - (3) 待機手当増額と適用範囲を拡大せよ。
 - (4) 遺族の直轄採用と就職あっせんせよ。
 - (5) アンソニット・縫製工場の賃金(現行一日当り三五〇円)を引き上げ、労務条件を改善せよ。
 - (6) 患者の治療対策を充実せよ。
 - (7) 生活対策として家族の就職あっせんせよ。
 - (8) 子弟の入・進学と就職に視覚

主 高裁、最高裁判決のねらい

張 逆立ちしている

その例をあげればきりがなく、一口に表現すれば「悪いことばかり通って、正しいことが認められないうち」の世の中である。三池斗争を通じて、法を無視して強いて進めようとした三井鉱山や政府、独占は何等かの責任を問われず、全労働者の生活と権利を守って闘った労働者がその責任を追及されている。世の中は逆立ちしている。

去る五日、福岡高裁と最高裁で例の三井鉱山と四山南門事件の判決が行われた。三井鉱山事件は一審の判決を支持して控訴が棄却された。南門事件も高裁の判決を支持して上告が棄却され、いずれも有罪を認めた。

三池労組の正当な権利としてのストライキ中に、組織介入をして第二組合を作り、多数の暴力団の応援を得て第二組合のスト破りを計画し、暴力行為を行なった者がなんらその責任の追及を受けずに正しい争議行為を行なった者が処罰されることとは絶対に許せぬものである。私たちがいまなおこれに対してけつして敗けたとも思っていない。闘争した行為をした覚えもない。したがってあくまで正しさを確信している。

現在の支配体制はあくまでも資本主義を守ることに基があることとはいうまでもないが、最近の反動はますます悪質化してきた



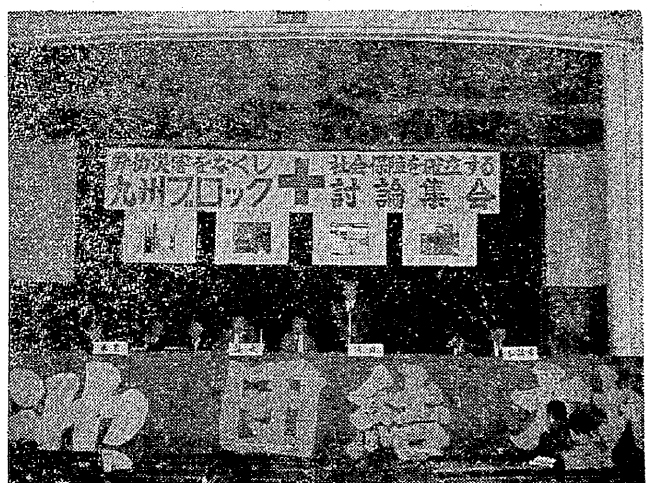
4月9日、三井鉱山本店での遺族・CO患者要求の第1回団体交渉

炭鉱災害

遺族会を結成

政府の石炭政策による合理化攻撃の非人間性を世論に訴え、炭鉱災害の犠牲者と家族の生活を守る闘いとして、黒いデモを中心として強化する方針である。

結成状況は、北海道三支部、九州一八支部、常盤三支部、計五四支部七六〇名となっている。このため三池から遺族代表表三名が、四月一六日上京する。



4月13日、社会党・総評による労働災害をなくし社会保障を確立する討論集会

岩手の全通仲間が来組

全国全通(郵便労働者)のなかでも岩手は、新潟・静岡とともに長い立派な斗争歴史を持つ。「五人組」の組織の中心として、大衆斗争路線の実践として早くから取り組むなど、先進的な活動をしています。この度青年部の幹部が中心となり自らのたたかひの経験や、三池労働者と交流し合理化斗争を更に深めようというので、四月二五日より二八日まで来組する。

CO特別立法を訴える佐賀県評二ニュースカー



熱情にあふれた遠来の若い活動家たちを迎えて、みんなが期待に応えるよう取り組もう。